

News Letter



総力特集！

第15回日本リハビリテーション栄養学会学術集会

－実行委員からのメッセージ－

● “レジリエンス”に込めた想い

大会長 小蔵 要司（恵寿総合病院臨床栄養課）



レジリエンスとは、困難や逆境に直面したときに心身のバランスを保ち、回復し、前に進む力を意味します。近年の災害や社会変化を踏まえると、この概念は患者だけでなく、医療・介護・福祉・教育に携わる私たち自身にとっても重要性を増しています。リハ栄養は、栄養状態の改善にとどまらず、身体機能の回復や心理的安定、社会的適応を包括的に支えるアプローチです。病気や障害、震災で落ち込んだ人が再び歩み出すとき、あるいは医療者や教育者自身が疲れた心を取り戻すとき、その背景には栄養の力があります。

アメリカ心理学会（APA）の「レジリエンスを高める10の方法」には、他者とのつながりや自己の強みに目を向けることが示されており、これはリハ栄養の実践と響き合います。本学術集会では、金沢ならではの茶道体験や工芸鑑賞、全国の仲間と交流できるプログラム、北陸の特選グルメを楽しむ懇親会をご用意しました。私のイチオシは公募ポスター企画「我が施設自慢のリハ栄養チーム紹介です。人は人と出会うことで回復し、新たな道が拓かれます。本会が「レジリエンスの力」を体感できる場となることを願い、2026年のホワイトデイに金沢で皆様をお待ちしています。

第15回 | 日本リハビリテーション栄養学会学術集会

会期 2026年 3月14日 [土] SAT

会場 金沢市文化ホール

■開催形態：現地＋オンデマンド限定教育講演

大会長 小蔵 要司 社会医療法人財団 恵寿会 恵寿総合病院 臨床栄養課

実行委員長 神野 俊介 一般社団法人 オーディナリーライフ

大会顧問 大村 健二 上尾総合中央病院 外科 栄養サポートセンター センター長

レジリエンス

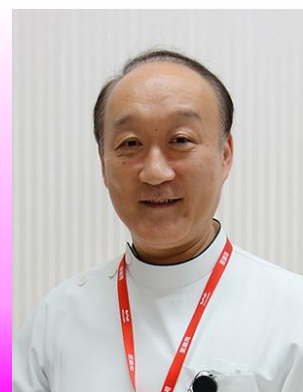
リハ栄養の真の実践を目指して

学術集会 HP

15th JARN KANAZAWA

● 真田 弘美先生の特別講演について

大会顧問 大村 健二（上尾総合中央病院 外科，栄養サポートセンター センター長）



第15回日本リハビリテーション学会学術集会では、多くの著名な研究者から特別講演、教育講演を賜ります。その演者のお一人に石川県立看護大学の真田弘美学長がいらっしゃいます。真田先生が「世界の真田」として羽ばたかれた出発の地がここ金沢です。

真田先生は聖路加看護大学をご卒業後、直ちに高い志をもって道を切り拓かれました。並々ならぬ努力と様々な出会いの結果、自他ともに認める褥瘡治療のトップリーダーになられたのです。金沢大学医学部保健学科の教授から東京大学大学院医学系研究科の教授となられ研究の拠点を東京に移された後、真田先生は研究の幅を一層広げられます。真田先生は褥瘡の診断・治療にサイエンスを取り入れられ、褥瘡治療学を一層格調高くした方であると認識しています。褥瘡を様々な角度から分析し、予防と治療に最適を期す。それに注ぐ情熱には、鬼気迫るものがあつたとさえ言えるでしょう。真田先生は、固定概念にとらわれない大変柔軟な頭脳をお持ちです。我が国で褥瘡の予防や治療に栄養療法が有効であると最初に認識されたのも真田先生です。真田弘美先生の素晴らしい半生が凝縮された1時間。たくさんのことを学んでください。

● 事前参加登録のお知らせとSTからみた注目プログラム

広報委員長 亀谷 浩史（富山県リハビリテーション病院・こども支援センター リハビリテーション療法部）



9/8より事前参加登録が開始されています。すでに参加登録を済ました方もいらっしゃるかもしれませんが、今回参加区分に新たにジョイント学会会員枠を設けました。ジョイント学会会員は、本学術集会でジョイント企画を実施する日本栄養治療学会、日本褥瘡学会、石川県栄養士会のいずれかの会員の方が対象となります。もちろん、日本リハビリテーション栄養学会の会員の方は会員枠でご参加ください。なお、ジョイント学会会員で登録の場合には会員番号が必要となりますので、事前にご準備をお願いいたします。さて、ホームページ上では主なプログラムが掲載され、魅力的な内容が盛り沢山です。STの私から見た注目のプログラムは「ミニレクチャー④：食欲不振時の臨床推論」です。食支援を行う中で、食欲不振の対象者にはよく出会います。食欲不振の原因は多岐に渡るため、補助栄養を行えば改善するというものではありません。どのようにして多職種で情報を集め、検証し、介入すべきか。食欲不振の対応に悩んでいる多くの方にとって必聴の内容です。2026年のホワイトデーは、ぜひ現地で食欲不振への考え方を学びませんか。

NEW ジョイント学会会員枠を作りました

3. 参加費		
参加区分	早割	通常
会員（不課税）	6,000円	7,000円
ジョイント学会会員	7,000円	8,000円
非会員（税込）	8,000円	9,000円
学生・研修医（大学院生を除く）	無料	無料

※参加費は現地参加、オンデマンド限定配信を含む金額です。オンデマンド限定教育講演のみ希望される場合でも、参加区分に従いお申し込みください。オンデマンド限定教育講演のみの視聴であっても参加証は発行いたします。

※ジョイント学会会員とは、本学術集会でジョイントセッションを行う、日本栄養治療学会、日本褥瘡学会、石川県栄養士会のいずれかの会員の方を対象としています（本学術集会に限った参加区分となります）

※非会員は、日本リハビリテーション栄養学会会員、ならびに上記ジョイント学会会員に該当しない場合に選択してください。

第15回日本リハビリテーション栄養学会学術集会ホームページ「参加登録ページ」より

● OTからみた注目のプログラム

抄録作成委員 田中 舞（市立砺波総合病院 総合リハビリテーションセンター）



3/14に開催予定の「第15回日本リハビリテーション栄養学会学術集会」は、演題登録が始まり、当日に向けて実行委員共々鋭意準備を進めております。本学術集会は、2019年より日本作業療法士協会の生涯教育制度の基礎ポイント対象学会となっております。学術集会参加で1ポイント、発表で1ポイントが付与されます。この機会に学会参加だけでなく、学会発表へのチャレンジもお待ちしています。

作業療法士である私の注目のプログラムは「心理面のリハ栄養」です。リハ栄養を必要とする対象者の多くは長期的な障害と向き合う事が多く、喪失感やうつを認める場合が多いです。一方で在院日数の短縮や病院の機能分化、医療従事者の無知によって心理面のリハ栄養は十分に実施出来ていないのが現状です。当日は医師、看護師、作業療法士が登壇し、心理面のリハ栄養について報告するとともに、会場に参加いただいた皆様と心理面のリハ栄養の実践について意見交換の場を設ける予定です。当日は「身体」だけでなく「心」のリハ栄養についても一緒に学んでみませんか？

● PTからみた注目のプログラム

プログラム委員長 野々山 忠芳（一宮西病院 リハビリテーション技術部）



皆様、9/8より公開されたプログラムはもうご覧になりましたか？本学会は実践的な内容に重きを置いたプログラムになっており、「リハ栄養って難しい」「結局どうしたらいいかわからない」とお悩みの初学者へ向けの内容から、エキスパートの皆様がさらにステップアップするための企画まで、盛り沢山の内容でお届けします。特に、聴講するだけではなく実際に話し合い手を動かしながら学ぶ参加型イブニングセミナー、参加型企画を多数準備しました。さて、PTの私が特にお勧めする注目プログラムは2つです。

1つ目は「特別企画②Pros and Cons 炎症期のリハ栄養 攻める？守る？」です。このテーマは私がリハ栄養を学び始めた頃からずっと頭を悩ませている問題で、Pros and Consという形で徹底討論する企画がやりたいと思っていました。まさか自分が登壇することになるとは思いませんでした…

2つ目は「初学者向け企画：わからないがわかる！ 症例から学ぶはじめてのリハ栄養」です。いくらリハ栄養を学んでも、どう実践に活かしていいかわからない方へ向けて、症例ベースで学ぶための企画です。ぜひ現地まで足を運んでいただき、有意義な時間を過ごしましょう！

● 会場での楽しみポイント

会場設営委員長 坂下 宗祥（ごちゃまるクリニック）



石川県は能登半島地震、奥能登豪雨災害の二重被災から復旧・復興に向けて少しずつ歩みを進めています。しかし、実際はさまざまな困難に直面し、専門職または地域住民として何ができるか模索する日々です。本学術集会のテーマである「レジリエンス」は回復力、復元力、弾力という言葉进行意味し、まさに二重被災からの復旧・復興と重なります。そのため、本学術集会の会場ではレジリエンスの力を感じられる空間となるよう準備を進めて参ります。

さて今回、会場では能登の海産物・漆芸品の物産販売を予定しております。能登の復興支援の後押しに是非お立ち寄りください。その他、趣のある茶室での茶道体験やスタンプラリーもご用意しており、会場の様々な場所に能登・金沢らしさを感じて頂きたいと考えています。また、学会ホームページ上では被災地支援として能登の応援特設ページを作成致しますので、是非ご覧ください。

皆様との出会いが能登の復興を後押し、明日への活力となることを信じております。2026年のホワイトデーは、金沢でお待ちしております！

● 管理栄養士の私がときめくおすすめ企画！

プログラム委員 田中 明子（石川県立中央病院 栄養管理室）



※イメージ

9/8よりプログラムが公開されていますが、ご覧になりましたか？多彩で興味を引く内容が揃っています。管理栄養士の立場からおすすめは、石川県栄養会共催企画です。災害の経験を活かし、被災地のレジリエンスを支える栄養支援のあり方を考えましょう！また、金沢ならではの参加型企画③では、茶室で本格的なお茶とおいしいお菓子を味わいながら、リハ栄養に関する悩みや疑問を先輩に相談でき、楽しく学べる時間を過ごせるはずです！他にも「リハ栄養を始めたいけど、やり方がわからない」という方を後押ししてくれる内容をたくさん用意しております。そして、現地参加者には、日本栄養士会の生涯学習1単位が付与されます。管理栄養士以外の立場からのリハ栄養を学べる貴重な機会となると思いますので、皆さまのご参加をお待ちしております。

最後にもう一つ、学会の楽しみといえばランチンセミナーのお弁当！今回は治部煮や笹寿司、能登牛、蟹など金沢らしい品にこだわり選びました。北陸の銘品として、大阪関西万博でも販売されたものもあります。味わいとともに学会の時間を楽しんでいただけたらと思います！

● リハ栄養には「飲みにケーション」！？

レセプション委員長 柳澤 優希（富山西総合病院 リハビリテーション科）



現在育休中の私ですが、微力ながら実行委員として尽力しています。我が子の成長を見届けながら思うことは、やはり運動と食事のバランスが重要であることです。

ご存知の方も多いかと思いますが、本会がまだ研究会だった頃から「飲みにケーションも重要」と言われています。あの有名な「リハと栄養はベストカップル」も他学会懇親会後の2次会で誕生しました（実は金沢です！）。

今回の懇親会では、参加費からは想像できないくらいに沢山の北陸の特選グルメを準備しております。懇親会で存分に味わって終電で帰るもよし！懇親会で味わったグルメをもう少し堪能したい方は、そのまま金沢の街へ繰り出しましょう！それだけでなく、簡単なゲームも準備しております。1人で参加されても「リハ栄養仲間」が自然と出来上がり、楽しいひと時を過ごせるかと思っています。

本会で新たな語録が誕生するかもしれません。2026年のホワイトデーは金沢へ！皆様のご参加をお待ちしております。

● 金沢検定有資格者からみた金沢の魅力

財務委員長 上野 真由美（金沢西病院）

「第15回日本リハビリテーション栄養学会学術集会」実行委員財務担当の上野です。私からは学会会場がある金沢の魅力についてほんの少し紹介させていただきます。金沢と言えば、言わずと知れた加賀百万石の城下町、その歴史的面影がそこかしこに見られます。金沢城公園・兼六園周辺を中心とした城下町を散策してもよし、ひがし茶屋街の街並みを見てまわるのもよし、近年では学会場近く尾山神社を通り抜けた所に鼠多門が復元され、その門を潜れば玉泉院丸の非常に美しい庭園が現れます。また、金沢はモダンな街として知られ21世紀美術館を始め、金沢駅鼓門、近江町市場に魅了されます。最新のおすすめスポットは、石川県立図書館です。少し会場からは離れますが行く価値ありのとても素敵な空間です。



今回の学術集会ですが、個人的に注目しているプログラムは、ジョイント企画⑤能登NST研究会とのコラボ研修です。2024年1月1日の能登半島地震において、震災被災者当事者でありながら能登の被災者を支えた栄養・食支援で活動したリアルな声を聴講できます。3月14のホワイトデーは金沢で！兼六園の風物詩雪吊りが見られるのもこの日が最終日となります。ぜひお見逃しのなきよう！

● 総力特集のさいごに

渉外委員長 東 敬一郎（浅ノ川総合病院 薬剤部）



私が大会長を拝命した第6回（富山）から実に9年ぶりに北陸で学術集会が開催されます。今回、私も実行委員の一人として関わらせていただいておりますが、第15回はなにせものすごいです！皆様ご存じの（？）北陸メンバーのパワフルさがいかんなく発揮されており、学術面はもちろんおもてなし面でも充実した学術集会になること間違いなしです。

そんななか、この学術集会の魅力をできるだけ多くの皆様に知っていただくにはどうすればよいのかと考えたとき、「そうだ、News Letterで特集を組もう」と思い今回の総力特集を企画しました。結果として実行委員の熱い想いを文章としてお示しすることができ、おそらくご覧いただいた皆様にもそれが届いたのではないかと思います。

ちなみに、私のイチオシのセッションは特別企画「チーム対抗！リハ栄養の診断推論」です。私はこちらにも少し関わらせていただいておりますので、乞うご期待ください。「2026年のホワイトデーは金沢で！」を合い言葉に、皆様のご参加を実行委員一同心よりお待ちしております。

■教育講演

前田 圭介 愛知医科大学病院
栄養治療支援センター 特任教授

西岡 心大 長崎リハビリテーション病院
栄養管理室 室長

中西 信人 神戸大学病院
災害救急医学分野

藤島 一郎 浜松市リハビリテーション病院
特別顧問

オンデマンド限定教育講演

■特別講演

大村 健二 上尾中央総合病院 外科
栄養サポートセンター センター長

真田 弘美 石川県立看護大学 学長

藤原 大 宮城厚生協会 坂総合病院
リハビリテーション科 診療部長

若林 秀隆 東京女子医科大学病院
リハビリテーション科 教授

■特別企画

チーム対抗！リハ栄養の診断推論

石川県
災害復興
ジョイント企画

●石川県栄養士会
●能登NST研究会

Fight

参加型企画

●リハ栄養ケアプロセス
ワークショップ

●つながる！広がる！
リハ栄養の輪 by RNC

●骨格筋エコハnz
オンセミナー

學術集会 HP

QRコード

JARN KANAZAWA

■会員向け教育動画配信の紹介

永見 慎輔（北海道医療大学）



会員向け教育動画配信を本格始動しました。第14回日本リハビリテーション栄養学会学術集会の教育講演が、学会ホームページの会員向けコンテンツで視聴できます。各コンテンツは短時間で要点を押さえられる構成で、臨床の意思決定に役立つポイントをコンパクトに学べます。主なテーマは、骨格筋の評価と解釈、摂食嚥下の基礎と最新評価ツール、エネルギー必要量の考え方の再整理、急性期における栄養療法とリハビリテーションの連携、在宅移行期の栄養管理などです。公開期間は原則24か月。視聴は会員マイページから、各自のアカウントでご利用ください。最新の公開状況はページ内の一覧をご確認ください。

あわせてeラーニングとして『GLIM基準栄養診断の価値とハウツー』（前田圭介 先生）、『攻めのリハ栄養』（若林秀隆 先生）を公開済みです。今後は『健康の社会的決定要因（Social Determinants of Health: SDH）』や『リハビリテーション・栄養・口腔の三位一体』の考え方を扱う短編も順次追加予定です。最新情報は会員マイページの「会員向け動画配信」をご参照ください。個人の継続学習や最新知見のキャッチアップにお役立てください。今後もラインナップの拡充を継続します。ぜひ、動画コンテンツをお楽しみください！

■研究会ならびに薬剤師会からのお知らせ

中道 真理子（原土井病院 薬剤部）



【第1回福岡リハ栄養ネットワーク研究会開催！】

各地で開催が進んでいるリハ栄養ネットワーク研究会が福岡でも開催決定しました。“地域でつながる、仲間と学ぶ、ゆっくり、じっくり、リハ栄養を考える楽しい学びの場”というキャッチフレーズで活動します。リハ栄養を始めたい、リハ栄養を実践しているけど悩ましい事例、など普段感じているちょっとした不安や違和感を話し合える場になることを期待しています。第1回目は2025年12月7日（日）です。参加費無料ですのでぜひご参加ください。参加希望の方は、QRコードからご登録をお願いします。



【回復期リハビリテーション病棟における薬剤師介入の有用性に関する研究】

ご協力施設募集

リハ栄養学会薬剤師部会では、「回復期リハビリテーション病棟における薬剤師介入の有用性に関する研究」について会員の皆様を対象に研究ご協力をお願いしております。回復期リハビリテーション病棟では、チーム医療推進する病棟です。しかしながら、薬剤師は、診療報酬上の配置要件には未だ含まれず思ようにチーム医療に参加することが難しい状況です。一方で薬物療法がリハ栄養の実践に及ぼす影響、特に悪影響は懸念されているため薬剤師の介入が必要と考えています。今回の研究にご協力いただける職種は薬剤師に限らず多職種の皆様をお願いしております。ぜひ参加登録をお願い申し上げます。

施設登録はこちらです→<https://forms.gle/Kk1s6aaNSLC3fpf36>

今月の数珠つなぎ

五十嵐 満哉（恵寿総合病院 作業療法課）



毎号一人①リハ栄養に関すること ②前者からの質問（お題は自由）の2項目について語っていただくのですが、今回は特別編です。

今回は数珠つなぎも特別編ということで、第15回学術集会大会長の小蔵 要司さんからのMBです。

① リハ栄養との出会い

2014年、回復期リハ病棟勤務時に発足したリハ栄養チームに初期メンバーとして参加したことがリハ栄養との出会いでした。当初は知識が不足していましたが、チームのメンバーと富山や仙台で行われた学術集会に参加し、「リハからみた栄養」「栄養からみたリハ」という視点を学びました。また、さまざまなエビデンスや研究成果を通じて、リハを進める上で栄養が不可欠であることを理解しました。現在では知見を深めることができ、日々の臨床業務に大いに役立っています。

② 現在の取り組み

訪問リハと回復期リハ病棟を担当し、後者では定期的にリハ栄養カンファレンスを開催しています。サルコペニアや体重減少の原因を多職種で臨床推論したうえでアプローチ方法を検討しています。継続的にモニタリングも実施し、改善の有無を確認しながら効果判定をしています。10年以上リハ栄養を継続しています。

③ リハ栄養金沢大会に向けて

私はOTという立場から、心理・社会面のリハ栄養についての企画や講演が楽しみです。また、リハ栄養学会は日本作業療法士協会のSIG認定学会になっている為、参加すると1単位、発表すると1単位取得できますので、多くのOTの皆様のご参加をお待ちしております。

次回はあなたかも知れません・・・。

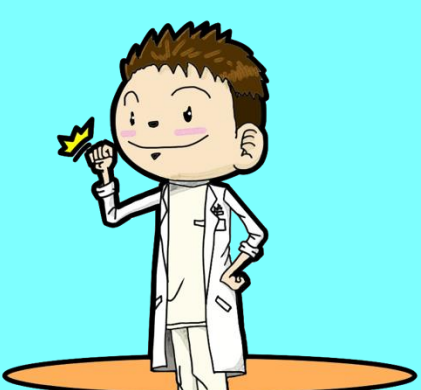
MBの矢が当たった際には、「はい！よろこんで！！」
のお返事をよろしくお願い致します。

2025年度 日本リハ栄養学会 年間行事予定

日程	行事名
2025年9月27日	TNT-rehabilitation（東京）
2025年9月1～30日	リハ栄養指導士の新規認定申請受付
2025年12月1～25日	リハ栄養指導士の認定更新申請受付
2026年3月14日	第15回日本リハビリテーション栄養学会学術集会（金沢市文化ホール）
2026年3月15日	TNT-rehabilitation（石川）

※日程は変更する可能性があります

編集後記



9月になってもまだまだ暑い日が続き、秋の気配がなかなか感じられませんね（執筆時点）。皆様におかれましても、体調管理には十分お気を付けください。
今回は第15回学術集会について総力特集を組んだため、いつもの書籍紹介、論文紹介、リハ栄養実践報告はお休みさせていただきました。編集担当次第ではありますが、次回からは再開されるはずで、次号もどうぞ楽しみに。

東 敬一郎（浅ノ川総合病院 薬剤部）